

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	上大坪町	令和2年2月	令和3年5月

集落座談会：令和2年2月9日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	8.2 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	5.1 h a
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	0.0 h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.0 h a
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者の高齢化が加速している。</li> <li>・水不足、日照不足などの不利な条件があるため、担い手に断られる。</li> <li>・後継者が不足している。若い人が集落入ってきてはいるが、農業に関心がない。</li> </ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

担い手に引き受けてもらえるよう、水の供給を改善する。
農家と非農家の協力体制をつくり、水の管理や畦の草刈を協力して行う。非農家の人にも農業について理解をしてもらう。
法人Aを新しい担い手とし、集積を進める。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農	認定農業者A	水稻	0.5 ha	水稻	0.5 ha		
認農	認定農業者B	水稻	0.5 ha	水稻	0.5 ha		
法	法人A	水稻	5.5 ha	水稻	6.5 ha		R3.5新規追加
計	3人		6.5 ha		7.5 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<p>水田を再整備して圃場区画を広くし、担い手が耕作しやすいようにする。</p>
<p>地域で協力し、集落単位での耕作を目指す。</p>
<p> </p>